

Classic Nagoya  
クラシック名古屋  
〒460-0024  
名古屋市中区正木西丁目8番7号れんが橋1F  
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330  
http://clanago.com

プレイガイド  
アイ・チケット  
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MANAGEMENT PRO  
①舞台・イベントの企画・制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンテッジビル305  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: http://www.mane-pro.com

名古屋二期会演奏会「藤戸」(原作・有吉佐和子・作曲・尾上和彦・演出・堀口文成)を共催上演する。

有吉佐和子の名作、16年ぶりに  
3月3-4日・芸術創造センターで

オペラ  
藤戸

有吉佐和子 原作  
尾上和彦 作曲  
堀口文成 演出

3.3 14:00開演(12:30開演)  
18:00開演(17:30開演)  
3.4 11:00開演(10:30開演)  
15:00開演(14:30開演)

名古屋芸術創造センター

## 名古屋二期会がオペラ「藤戸」を上演

口封じのために漁師を刺殺した武将・盛綱と、息子を奪われた母親の悲哀を描いた和製オペラ。二期会では2002年

24-25日・芸創センターで  
演劇アカデミー修了公演

科学する探偵  
天野天街・火田詮子 演出  
典彦・小熊ヒデジ・小演劇界のビッグネーム4人

はせひろいち作、演出「科学する探偵」

天野天街・火田詮子 演出  
典彦・小熊ヒデジ・小演劇界のビッグネーム4人

天野天街・火田詮子 演出  
典彦・小熊ヒデジ・小演劇界のビッグネーム4人

天野天街・火田詮子 演出  
典彦・小熊ヒデジ・小演劇界のビッグネーム4人

天野天街・火田詮子 演出  
典彦・小熊ヒデジ・小演劇界のビッグネーム4人

天野天街・火田詮子 演出  
典彦・小熊ヒデジ・小演劇界のビッグネーム4人

天野天街・火田詮子 演出  
典彦・小熊ヒデジ・小演劇界のビッグネーム4人

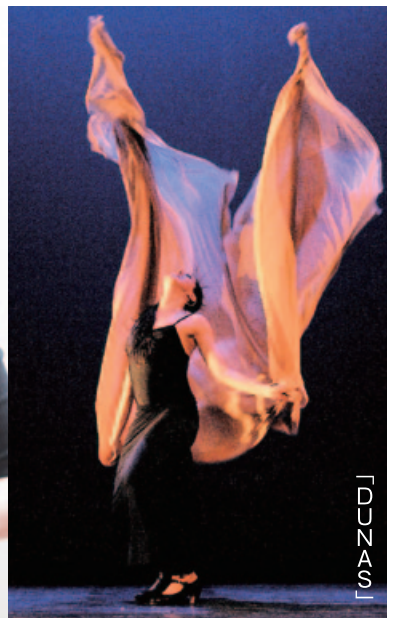
# マリア & ラルビ 来名



©David Ruano



撮影・中野建太



©David Ruano

## 日本初演「DUNAS」を披露

4月5日 アートピアホールで共演

フラメンコ界の至宝マリア・パヘスとコンテナ・ポリー・ダンサー&振付家として世界の注目を集めるシェディ・ラルビ・シェルカウイ(注・シェディは敬称)が来日。4月5日、アートピアホールで「DUNAS」(ドゥナス)日本初演IIを上演する。

「DUNAS」は単なるフラメンコとコンテナのコラボではない。ともに優れたダンサーで振付家であるマリアとラルビが再演を繰り返して練り上げたステージは、ジャンルやルールにとらわれない斬新なパフォーマンスで見る者をワクワクさせる魅力にあふれている。同作の初演は2009

## 渋い二枚目、歌うはエルビス!



デビュー 30 周年の金井雅彦

108 金井 雅彦

デビュー 30 周年を迎えたシンガー・金井雅彦(名古屋出身)。小林旭に似た、渋い二枚目である。キャロルの矢

沢永吉、ジョニー大倉にあこがれ、ロックー筋に青春を燃焼させた熱い男だ。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

「DUNAS」は2010年に開催された「第16回フラメンコ・ビエンナーレ」の最優秀公演/ヒラルディー・ジョ賞を受賞している。

夏樹陽子 ホワイトデーライブ  
2018.3.30 fri  
OPEN 19:00 START 19:30  
CHARGE ¥8,000 (+ご飲食)

エルム会員入場チケット、フリーパス、食事券などサービス券は使用できません。

夏樹陽子  
ファッションモデルを経て、雑誌、CM等で活躍後、東映映画「空手バカ一代」ヒロインとして女優デビュー。また「マッサン」をはじめとするテレビドラマや舞台にも多数出演。昨年、芸能生活40周年を迎えた。日本を代表する女優であり、宝島社のデザイナーも務めるなど幅広く活躍中。

ご予約・お問合せ ● café concert ELM / カフェ・コンセル・エルム  
TEL 052-733-0085 mail / mail@chanson-japonaise.com エルム シャンソン 検索

## ミュージカル「山三と阿国」に主演

春日井こずえ  
山口実紗23  
―25日(全5回)アートピアホールで公演

山口実紗と春日井こずえ

選抜された若い俳優、ダンサーたちが、書き下ろしのオリジナル・ミュージカルを初演する。名古屋文化振興事業団の企画公演「山三と阿国」(脚本・奥山景布子、

作曲・大島ミチル、演出・永井寛孝)が2月23―25日、アートピアホールで開催される。

歌舞伎の始祖とされる出雲の阿国(おくに)の、波乱の愛と半生を描いた戦国ロマン。そのヒロインをダブルキャストで演じる春日井こずえと山口実紗に意気込みを聞いた。

春日井は名古屋芸大ミュージカルコース出身で、現在は早川玲美が主宰するダンスファクトリーで講師を務めている。山口は神奈川県の昭和音大ミュージカルコース出身で、春日井より10歳年下。両者とも事業団



演奏会・発表会・ステージ等カラードレス・アクセサリ専門店  
¥10,000～¥70,000までのリーズナブルプライス。アクセサリSETは¥4,980～  
東山線・上社駅前すぐ 駐車場完備  
ドレスショップ Enclair  
OPEN 11:00～19:00 CLOSE 月曜日定休  
名古屋市中区東区上社1-506-1F TEL:052-739-6155

は「ワクワク感いっぱい。時代劇は初めてなので、日舞の西川長秀先生に立ち居振る舞いを習っています」とのめり込む。相手役(山三)は、春日井がGOH I R I S W A T A N A B E、山口が荒川裕介。春日井は「GOHさんは、せりふから歌につながる高揚感が素晴らしい」。山口は「荒川さんは、私がどう動いても受けてくれる。気持ちよく演技のキャッチボールができる」と全幅の信頼を置く。

## ロシア舞踊団&amp;ビッグバンド迎え



(撮影/スタッフ・テス 上野忍)

「ロシアから愛をこめて」のサブタイトルが付いた三代舞踊団のクリスマス公演(12月24日・アートピアホール)。ロシアのクラスノヤルスク市から「ジャズバレエヴァレリー団」を

HITOMIホール  
プリズムステージ

多彩に煌めくステージをHITOMIホールで――  
MBAイベント事業部が企画するHITOMIホール プリズムステージ、その他の公演についても随時、情報発信していきます

<http://event.menicon-ba.co.jp/>

チケットお申込み・お問合せ  
[メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント事業部]  
電話 052-935-1630 (平日10:00～17:00)  
メール mba-event@menicon-net.co.jp  
※未就学のお子様は、ご遠慮ください。

HITOMIホール  
名古屋市中区葵三丁目21番19号  
メニコンANNEX 5F

朗読と音楽が紡ぐ、純愛 智恵子抄「田園交響楽」より  
出演/橋爪 淳(朗読・光太郎)  
2018 3/2(金) 15:00開演 [14:15開場]  
19:00開演 [18:15開場]  
3/3(土) 15:00開演 [14:15開場]  
料金/【一般】前売り3,000円/当日3,500円  
【大学生迄】前売り・当日ともに1,500円 [全自由席]  
演奏/刈谷なつみ(ヴァイオリン) 日野 俊介(チェロ) 田中 敦子(ハープ)

年連続の出演になる中京大学軽音楽部「ニューサウンズ・ジャズオーケストラ」。年ごとに力をつけてきたビッグバンドと三代舞踊団メン

## 舞台批評

倉知可英&amp;加藤おりの

倉知可英(現代舞踊)と加藤おりの(フラメンコ)のジョイントリサイタル「K・A・S・A・N・A・R・U」(12月9―10日・千種文化小劇場)を見た。2015年3月に、倉知が演出し、加藤が主演した「葵の上」以来の共演だが、今回は二人が四つに組んでの「競演」である。

甲いの鈴が鳴る暗黒のオープニングが、観客を異空間へと誘う。倉知は黒、加藤は白、対照的な衣装だが、対立ではなく、異なる魂の出会いと融合を描いた作品である(らしい)。ぞっとするほど恐ろしく、ぞっとするほど美しい二人のデュオである。

## 嘆きと絶望、再生への予兆を表出



倉知可英と加藤おりの



佐藤典子・振付「生きる」

シーンは加藤のソロに移る。床を踏み鳴らす躍動的なフラメンコではなく、内へ内へと踏み込む深遠なダンスである。情感豊かな倉知のソロには、大切なものを失った嘆きと絶望が見え隠れする。やがて二つの病んだ魂は同化し、新たな誕生に向けての予兆を見せるのである。

## 「猿・小浪作品の継承」テーマに

現代舞踊・佐藤典子

ことし舞踊家生活70周年記を迎える佐藤典子が、そのフレイベントとして「アクトの丘にショパンを舞う」(12月26日・

パノを舞う)に2月26日・後には静岡県磐田市にスタ



(撮影・水野まゆみ)

## ダンサー際立たせた大嶋のコンテ

バレエ・ミュー

植村麻衣子主宰するエコー・ドゥ・バレエ・ミューが、第7回発表会を開いた(12月27日・芸術劇場大ホール)。植村が演出・振付した「海

王国パロペトリ」を主作品に、バレエコンサート(40曲)が付いた。私の視聴覚を引き付けたのは、大嶋正樹が振り付けた4作のコンテンポラリー。踊ったのは中野拓馬、福持みわね、松村

「パロペトリ」は幼児から上級者まで98人

ジョを開演した。今公演は「レ・シルフィード」で開幕。佐藤が「猿・小浪作品を次代へ継承したい」の思いを込めた「浜辺の歌」(原振付・石井小浪、再構成・佐藤典子)など、ジュニアによる5曲を披露。猿の孫・

石井登も出演した。後半は「ショパンを踊る」と題した8作品で構成。現代舞踊のダンサー、振付家として各地で活躍する馬場ひかり、倉知可英、米沢麻佑子、渡辺みどりの精鋭4人が力演した。

終盤には男性グループA l p h a c t が詩人・谷川俊太郎の「絵のない絵葉書」の朗読を交えた作品を上演。ラストは佐藤の意欲作「生きる」で締めくくった。記録映像も加えた多彩な演出は見玉道久。(寺村敏)

## 30年連続の「くるみ」継続は力



(撮影・テス大阪)

越智INバレエ

毎年3作は見る「くるみ割り人形」だが、今年は(名古屋市内では)越智インターナショナルバレエのみ。おそろく日本で唯一、本花道を使った「くるみ」である(12月22日・市民会館中ホール)。

越智版「くるみ」の主役は王子と金平糖。王子はワディム・ソロマハ、金平糖はバレエ団の生え抜きで、最も安定感のある渡辺梢が踊った。ワディムの何気ない立ち

居振る舞いには、パートナーへのいたわりと敬愛を感じられた。渡辺は堅実なダンスでそれに応えた。

デibelティスマンでは「フランスの踊り」の大下結美花&野々山亮が秀逸。花のワルツの複雑なフォーメーションも巧みだった。気になったのは音楽(テューブ)。ポリウムが不安定で見せ場に迫力を欠いた。

## 短 信

「コントラバスの大円舞」

3月1日(午前11時)名東文化小劇場。セントラル愛知交響楽団の4人のコントラバス奏者が、重低音の魅力のアピール。曲目はモンティ「チャルダッシュ」、J・シュトラウス「トリッチ・トラッチボルカ」ほか。全自由席1000円。TEL052(726)0008。



さわやかで素直  
ピアノ・山田侑依

ピアノの山田侑依（ゆい）が初のリサイタル（12月14日・電気文化会館）を開いた。さわやかな音に好印象を抱いた。

前半はモーツァルトを中心に、後半はショパンのソナタと分かりやすい選曲だが、初めてにしては楽な内容ではない。

モーツァルトのソナタでは一番有名な「第11番・トルコ行進曲付き」を、急がずゆったりしたテンポでモーツァルトらしい、優しい澄んだ音を響かせた。第3楽章のトルコ行進曲は快調な展開で、きれいに決まった。

メーソンのショパン「ソナタ第3番」は、スケールの大きさと内面的な深さを持つ難曲。やや変化に

# な音色に好印象

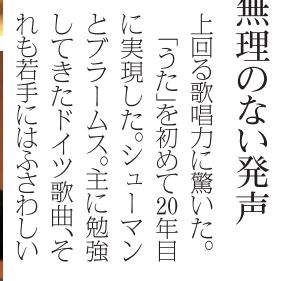
力。このまま経験を重ねれば好感度の高いピアノistになれる存在だ。

芝山 未熟さはあるが、シンブルで素直な音色が魅

期待、美声と無理のない発声

声楽・佐藤綾音

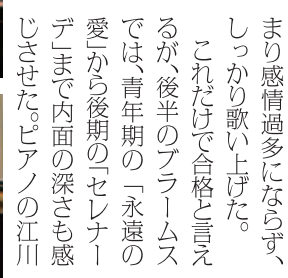
メゾソプラノ佐藤綾音の初リサイタル（12月17日・HITOMIホール）。以前聴いた印象をかなり


上回る歌唱力に驚いた。「うたを初めて20年目に実現した。シューマンとブラームス。主に勉強してきたドイツ歌曲、それも若手にはふさわしい

選曲だった。シューマン「ミルテの花」から「はすの花」など親しみやすい4曲。続く「女の愛と生涯」は、8曲で女性のドラマティックな半生を歌うため相当な表現力が要求される。あまり感情過多にならず、しっかり歌い上げた。

これだけで合格と言えるが、後半のブラームスでは、青年期の「永遠の愛」から後期の「セレナーデ」まで内面の深さも感じさせた。ピアノの江川

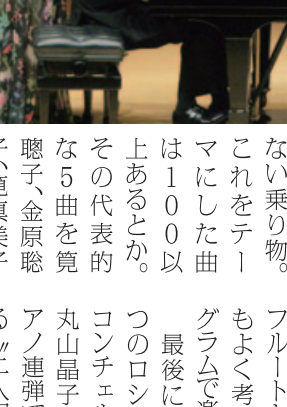
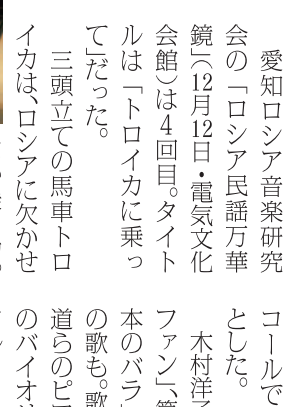
智沙穂も曲想をよくとらえ、妙なるアンサンブルを創出した。恵まれた美声と無理のない自然な発声でまったく違和感がない。貴重なメゾソプラノとして期待できる。

工夫凝らしたプログラム：納得

ロシア音楽研究会

愛知ロシア音楽研究会の「ロシア民謡万華鏡」(12月12日・電気文化会館)は4回目。タイトルは「トロイカに乗って」だった。

三頭立ての馬車トロイカは、ロシアに欠かせない乗り物。これをテーマにした曲は100以上あるとか。その代表的な5曲を寛聰子、金原聡子、寛真美子らが歌った。どれも初

木村洋子の「赤いサラファン」、寛聰子の「百万本のバラ」などおなじみの歌も。歌のほか吉永哲道らのピアノ、江頭摩耶のバイオリン、寛孝也のフルートと多彩で、今回もよく考えられたプログラムで楽しませた。

最後に登場した「2つのロシア民謡によるコンチェルティノ」は丸山晶子と山下勝のピアノ連弾で、前後に重なる「二人羽織」のサブライズ付き。これは時々使えそう。



次期音楽監督 ヤー・ヴァン・ズヴェーデン指揮

# ニューヨーク・フィルハーモニック

with 五嶋 龍




**NYフィル×五嶋龍 待望の初共演!**

ワーヘナール  
序曲「シラノド・ベルジュラック」op.23  
メンデルスゾーン  
ヴァイオリン協奏曲 本短調 op.64  
〔ヴァイオリン：五嶋 龍〕  
ストラヴィンスキー  
バレエ「春の祭典」



Ryu Goto

**2018 3.15 18:45開演 (18:00開場)**

**日本特殊陶業市民会館フォレストホール**

S席 30,000円 A席 25,000円 B席 21,000円 C席 17,000円 D席 13,000円 U25 4,000円 (全席指定)

※本公演は、前売券1万円で全席指定の1席です。本席券とチケットの両方、両方ともお持ちください。日本特殊陶業市民会館に直接お申し込みください。日本特殊陶業市民会館に直接お申し込みください。日本特殊陶業市民会館に直接お申し込みください。日本特殊陶業市民会館に直接お申し込みください。

クラシックコンサートのチケットは  
**アイ♥チケット** **0570-00-5310**  
 (10:00~17:00 ※日祝休み)

---

**アイ♥チケット** web **検索** 

※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!  
 カード決済・コンビニでのお支払いができます。

**クラシック名古屋のプレイガイド  
「アイ・チケット」**

多くのクラシックコンサートのチケット  
販売から、ホール、座席のことまでオペレー  
ターが、丁寧に対応いたします。  
ホームページからもチケット購入ができる、  
便利なクラシック専門のプレイガイドです。